

学校関係者評価報告書

御茶の水美術専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人服部学園 御茶の水美術専門学校の令和2年度自己点検・自己評価の結果報告に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、以下のとおり評価結果を報告いたします。

1. 開催日時

令和2年11月12日（木）10:00～12:00

令和3年 6月24日（木）10:00～12:00

2. 開催場所

学校法人服部学園 御茶の水美術専門学校 会議室

3. 学校関係者評価委員

委員長 渡部卓明（企業）

委員 瀧澤奈美（企業）、長倉義信（公益法人）、星賢人（企業）、田中康平（卒業生）

4. 議事経緯

学校側関係者より令和2年度上期（11/12委員会）および年間（6/24委員会）の自己点検・自己評価の実施結果について学校関係者評価委員会において説明・報告を行い、各委員から評価結果に対する評価コメントならびに改善に向けた意見・提言をいただいた。

5. 評価結果

(1)総括評価

学校側による293評価項目の自己点検結果は「○」が226項目（77.1%）となり、全体的には質の高い教育活動・学校運営を遂行していることが確認できたが、一部項目に改善すべき課題があるため、課題項目毎に策定した改善方策の確実な実行により更なる質の向上を期待する。

(2)各委員の評価コメント

- ①全体としてスピード感を持って対応していると感じた。ポートフォリオ指導が本校の強みであり、就職活動において記憶に残る自己PRができるよう学生支援をしてほしい。
- ②スタートアップ企業において本校の人材ニーズはすごくある。スキルだけでなくソフト面で顧客課題の解決をクライアント視点でアウトプットできるので、人材として魅力的と思う。
- ③学生が嬉々として華やかに自分の意見を主張するのが本校の真骨頂と感じている。会社では枠組みを崩していく創造性が大事であり、学生にそういう環境を与えることを望む。
- ④一番のファンは卒業生であり、社会的に活躍されている人も多いので、同窓会を組織化して上下左右に広げていけば、結果として入学者増加にもつながり就職にも効いてくると思う。
- ⑤地域活動は重要であり、小学生を対象としたオンライン講習会などオンラインでも活動はできる。学生や小学生にとって自分とは違う立場の人とのつながりを作るのは大切な経験となる。
- ⑥他校と比べて対面授業とオンライン授業の割合が真逆になっていることに驚いている。教職員の多大な努力があるものと思う。

以上